指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

施設所管課	市民部スポーツ課

施　設　名	大津市比良げんき村
指定管理者	株式会社linkworks
指定期間	令和3年4月1日　～　令和8年3月31日
指定管理料	年額12，000，000円（令和7年度）　（総額74，000，000円）
設置目的	野外活動を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民のスポーツ、レクリエーションの振興を図るため。
業務内容	大津市立野外活動施設条例第8条各号に規定する業務。 （1） 野外活動施設を利用に供する業務 （2） キャンプ場等の使用の許可に関する業務 （3） 野外活動施設の施設及び設備の維持管理に関する業務 （4） その他市長が定める業務

所管課総合評価	Ⅰ～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント
	B（良好）	利用者数及び利用料収入は前年度実績を下回る結果となったが、事故等なく運営することができた。 また、次期指定管理者への業務の引継ぎも滞りなく実施することができた。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B（良好）	問題なく運営できている。	B（良好）	野外活動施設の目的を踏まえ運営できた。
	職員の勤務実績･配置状況･労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B（良好）	前指定管理者からの人員を引き継ぎ運営を行っており、前責任者を中心に行えている。	B（良好）	経験を有する人員を確保し、適正な職員配置ができている。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B（良好）	仕様書に基づき研修を行えている。	B（良好）	適切にできている。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B（良好）	関係法令を遵守できている。	B（良好）	関係法令、条例等を遵守している。
	個人情報保護･情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B（良好）	問題なく行えている。	B（良好）	適切にできている。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B（良好）	日々の日報及び引き継ぎ、点検報告等など問題なく行えている。	B（良好）	点検結果など適切に記録･保管できている。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B（良好）	適正である。	B（良好）	適切にできている。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B（良好）	緊急連絡体制として、不通ということはなく行えている。	B（良好）	緊急時の連絡体制が確保されている。
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B（良好）	遵守できている。巡回を1日2回行っている。	B（良好）	巡回を行うなど、事故防止及び安全確保に努めている。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B（良好）	利用者数は前年比−689名となっているが内訳も変化している。	B（良好）	利用動向の変化により、前年度実績を下回る結果となったが、おおむね適正な水準である。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B（良好）	クレームなく運営できている。	B（良好）	利用者に対して適切な対応ができている。
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	様々な媒体を利用し、利用者促進を行えている。	B（良好）	計画どおり事業を実施できている。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B（良好）	指定自主事業に関しては計画通り進められている。	B（良好）	自主事業で一部開催を見送ったイベントがあったが、指定自主事業については計画どおり実施できている。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理（点検・修繕）を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B（良好）	問題なく進められている。	B（良好）	施設、設備の保守管理を適切に実施し、修繕が必要な箇所については迅速に対応することができた。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B（良好）	昨年度作成のHPから改善を行っている。	B（良好）	パンフレットなどにより情報発信ができている。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	実施している。	B（良好）	配慮ができている。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	施設内において可能な範囲で実施している。	B（良好）	配慮ができている。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B（良好）	実施している。	B（良好）	意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立している。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B（良好）	アンケート及び直接いただく利用者の声を出来るだけ反映するようにしている。	B（良好）	利用者アンケートを実施し満足度やニーズの把握に努めている。
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価 【標準11項目／当施設11項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅲ収支等	**経理事務** □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B（良好）	現場と本社の2体制により管理を行えている。	B（良好）	適切にできている。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B（良好）	売り上げは前年比−186,897円となった。	B（良好）	利用動向の変化により、前年度実績を下回る結果となったが、おおむね適正な水準である。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B（良好）	前指定管理者の契約社を元に地元業者を選定し、その上でできるだけ自主修繕を行う。	B（良好）	経費削減に努めている。
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅳその他（独自の取組等）	**その他** □ 努力事項として掲げた利用促進の取り組みを推進したか	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	弊社関連施設の利用促進など進められた。	B（良好）	利用促進を行うことができた。
	《Ⅳ総　括》　その他に関する評価 【当施設1項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

主な成果（全体）

使用料（利用料）	目標	6,000,000 円	⇒	実績	4,867,407 円	
稼働率	目標	%	⇒	実績	%	
利用者数	目標	14,000 人	⇒	実績	10,226 人	

【指定管理者コメント】

令和7年度は利用動向の変化に伴い、第1期・第2期の利用者数・売上が前年を下回りましたが、第3期に学校合宿等の団体利用が大幅増加し、施設の活性化につながりました。地域の近隣団体のイベント協力についても積極的に受け入れ、施設の利用促進と周知向上に努めました。自主事業は熊の出没リスクを考慮し、一部中止となりましたが、今後もニーズに応じた実施により利用者数は伸びてくると考えております。

【施設所管課コメント】

目標としていた年間利用者数及び利用料収入は達成できなかった。また、前年度実績も下回る結果となった。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
秦荘学童利用	自主事業	滋賀県愛荘町にある弊社関連施設学童利用	実施	
登はん壁講習会	指定自主事業	登はん壁を使った初心者講習及び体験会	実施	
木工クラフト	指定自主事業	木工室を使ったクラフト体験	実施	
観望会	指定自主事業	プラネタリウムと望遠鏡を使ったスターウォッチング	実施	
弊社主催キャンプ	自主事業	弊社関連施設利用者対象のキャンプ	実施	

【指定管理者コメント】

弊社主催キャンプに関して、通常の施設利用は実施できましたが、長時間滞在となるキャンプにつきましては、暑さ対策のため第2期へ実施を延期（スライド）いたしました。その後、イベントとして10月26日（日）、11月24日（月）、12月7日（日）を計画しておりましたが、11月は開催を見合わせることとなりました。さらに12月および1月に計画していた分につきましても、積雪や熊出没の可能性に関する安全面を考慮し、最終的に開催を見送る判断をいたしました。

【施設所管課コメント】

自主事業について、天候などの理由により開催を見送ったイベントがあったが、指定自主事業については計画どおり実施することができた。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

令和7年度第1期および第2期は、利用者数・売上ともに前年を下回る結果となりましたが、近隣エリアの課外活動やイベントでの利用は引き続き堅調に推移しています。また閑散期にあたる第3期については、積雪による影響が大きかった昨年度と比べて天候に恵まれたため、利用が伸びております。期間中は、施設の凍結対策や除雪、天候に応じた予約者へのご案内も適切に実施いたしました。施設の修繕等については随時ご相談させていただきながら、進めてまいりました。なお、次期指定管理者への移行業務につきましても、滞りなく完了しております。

【施設所管課コメント】

施設の老朽化により、様々な施設で不具合が発生しているが、迅速に修繕対応ができている。
遊具等については利用ニーズを鑑み引き続き個別検討が必要。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準（A～D）は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

